

第2回教育振興基本計画・生涯学習推進計画策定委員会 議事録

日 時 令和8年2月19日(木) 13:00~15:00

場 所 長野市役所 第一・第二委員会室 (第一庁舎7階)

出席者 <出席委員>

荒井英治郎委員 市川 寛委員 笠井澄人委員 風間悦子委員

木原 均委員 小林和彰委員 小林公子委員 込山令子委員

島田 稔委員 下山真衣委員 新見宏司委員 関 春奈委員

田中 武委員 日台和子委員 吉江速人委員 渡邊 徹委員

<事務局> 20名

議 事

1 開 会

2 委員長あいさつ

第2回ということで、後半では時間の許す限り部会ごとでコミュニケーションをとっていただこうと思う。改めて、部会の中で自己紹介等をお願いしたい。

3 協議事項

(1) 第三次長野市教育振興基本計画の主な取組状況と課題について **資料1**

資料に基づき事務局が説明した。

資料1 第三次長野市教育振興基本計画 主な取組状況と課題 (令和4~6年度)

委員長 総務課から、生活保護法に関わる準要保護児童生徒への支援、学校安全や学校安心について、学校教育課から、ICTの利活用を通じた学びの提供や、幼・保・小の連携、特別支援教育の進展、不登校支援等々について、保健給食課から、健康の保持増進の観点から、アレルギー対応、学校給食、感染症予防について、家庭・地域学びの課から、親子学級や地域づくり、生涯学習、社会参画について御説明いただいた。

補足だが、配布資料のセクションの最後に、「令和7年度の重点的な取組」という記載があるが、令和7年度の実績については、例年、翌年度に「点検・評価」が行われるため、まとまり次第、何らかの方法で事務局から情報提供してもらいたい。

皆さんの方から御質問等はあるか。

ないようなので、(2)に参りたい。

(2) 第三次長野市生涯学習推進計画の主な取組状況と課題について **資料2**

資料に基づき事務局が説明した。

資料2-1 第三次長野市生涯学習推進計画 目標値及び設定根拠等 (令和4~6年

度)

資料 2-2 第三次長野市生涯学習推進計画の主な取組状況等 中間報告 (令和 4～6 年度)

資料 2-3 令和 7 年度 まちづくりアンケート 報告書 ～抜粋～

委員長 事務局から資料 2 を中心に御説明いただいた。御質問等いかがか。

委員 前回の資料 3-2 のシート 3 についてだが、第四次長野市教育振興基本計画 (長野市教育大綱) の策定にあたり、国の第 4 期教育基本計画と長野県第 4 次教育振興基本計画 (令和 5 年～9 年度)、これを参酌しながら作成すると記載されているが、長野市で今回策定されている内容は、基本的に、国の第 4 期教育基本計画と長野県第 4 次教育振興基本計画に縛られるのか。実際、長野市では、策定委員会で議論しているが、それがある程度、国や県のものによって制約されるとすれば、自由度がどのくらいあるのか、また計画策定のタイミングの時期が少しずれていると思うが、それについてのお考えをお聞きしたい。

委員長 1 点目について、法令上「参酌」することが定められており、国や都道府県が策定している内容を考慮する、参考にすることになっている。これにより市町村レベルで自由度が大きく奪われるということはほとんどないと思う。全く同じ内容にする必要がないが、国と都道府県の教育振興基本計画については、次回以降事務局から皆さんに、何らかの形で情報提供いただきたい。

タイミングについては、他の施策や総合計画との関係もあると思うが、事務局からお答えいただけるか。

事務局 今、委員長からお話があったように、長野市総合計画というものがある。長野市全体の計画になり、基本的に 10 年だが、次期計画は教育振興基本計画等と同じタイミングで令和 9 年度からスタートする。

つまり総合計画の下に、この教育振興基本計画があり、その個別計画として生涯学習推進計画があるので、すべて連携を図りながら、連動して策定していく。

委員 長野市が策定した後に、国や県の次期計画がスタートする。例えば国や県の内容がより新しく、それを計画に含めればよかった、ということがあるのではないかと思います。その辺りはどうか。

事務局 もっともな御意見だと思う。我々も、国の動向を踏まえた上で、ある程度、盛り込んでまいりたいと思っている。ただ未確定なものについては、やはり含めるのは非常に難しいと考えている。

おっしゃるとおり、国の計画と時期のずれがどうしても出てしまうが、そのように対応させていただきたい。

委員長 あくまで計画なので、個別の事業の中身に関しては、行政として年度ごとに適切に見直しを行い、加えるべき点は加えていくという認識でいいのではないかと思います。他にはいかがか。

委員 先ほどの資料 2-1 の施策 2、2 つ目の「市立公民館・市交流センター活動に関する

るSNSによる情報発信数」で、目標値が180回、令和5年度と令和6年度の実績値がどちらも2回であり、現実的にはもう止めたように見える。ここには、フォロワー数が非常に少ないと書かれているが、何かフォロワー数を増やす取組はされたのかということと、これに代わるものとして、ホームページだとプッシュ型で情報発信することはできないから、そこに対してどういう取組をしていくのかを教えてください。

委員長 私もそこは聞こうと思っていた。事務局としてはどうか。

事務局 確かにSNS、ツイッターなど市のアカウントがあるが、決裁を取っていると、非常に遅くなってしまい、どうしてもタイムラグが出てきてしまうのが実情である。しかしながら、やはりプッシュ型のもも必要とは思っているので、広報広聴課などと協議を進める上で検討したい。

委員長 1つの発信に対して、すべて決裁を取っているという理解でよいか。長野市だけでなく、他の自治体も同様の制約条件があるということは御理解いただいたほうがいいと思う。

事務局の方で、代替りの広報のやり方等、何か今、庁内で話題になっていることはあるか。何かしら迅速な情報発信をする上で、どこかがチェックをした後でなくては発信できないというのは、課題ではないか。

事務局 情報を発信するホームページ等、やはり通すところは通さないといけないところがあるので、なかなか難しい。

委員長 他の自治体の状況を、ぜひ情報収集していただき、打開策を検討してほしい。目標値180に対して2回ということで、非常に目立つ。読み手にとっては、「止めた」という理解にならざるを得ないため、代案が必要だと思う。

事務局 SNSの活用で、1つ教育委員会として取り組んでいることがある。御存知の方もいらっしゃるかもしれないが、「長野市の学校給食」というアカウントでインスタグラムに投稿をしている。おかげ様でフォロワー数がそろそろ9,000になる。これは、事前の情報発信というXとは違うので、事後の発信になり、即時性はあまりないが、発信にあたっては、課長がすべて内容の確認を行っている。ただ、その日のうちには確認を済ませて投稿することができる。やり方はいろいろあるので、こういった使い方もあると思う。

ちなみに、「長野市の学校教育」も今年度からインスタグラムでの情報発信を始めている。よろしければフォローをお願いしたい。

委員長 今、インスタグラムの話があったが、例えば松本市教育委員会では、今年度からnoteを利用するようになった。

委員 この市立公民館や交流センターの情報発信というのは、例えば公民館でこういう成人学級があります、などという情報だと思うが、実際、自分の居住地区以外の情報が流れてきても、物理的に参加できないこともある。一方で、どの地区の方も参加でき、年齢も関係ないというようなものだったら広く周知するのも良いと思う。地域や、対象年齢など、限定的なものになると、見ても関係ないと思って、フォロ

ワー数も増えないのではないかと思います。やはり、各公民館がどういう形で情報発信していけば、地域の生涯学習が盛んになっていくのかを、対象者別にいろいろ考えていく必要がある。一律に何でもSNSでやっていけばフォロワー数が伸びるものではないため、対象を絞って戦略を考えていく必要があるのではないかと思います。

委員長 確認だが、これは、情報発信は1アカウントの話か。すなわち、1つの発信元が、異なる建物、箱物の情報を流しているのか。

事務局 家庭・地域学びの課で1つのアカウントです。

委員長 そちらの方がいい場合もあれば、対象者別になると、個別具体的な情報が入る一方、例えば100アカウントあったとしてもフォロワー数は微々たるものになり、行政としてその効果が疑われる可能性もある。どちらがいいというわけではないため、ぜひ御検討いただきたいと思う。

先ほどの資料2-3の説明の中で、P62からの生涯学習関係で、「特にない」という部分についての課題を投げかけられた。どのような生涯学習の活動を行っているのか、どういうことを学びたいのかということに対する「特にない」という部分である。多くの市民の方の「生涯学習」に対するイメージやまなざしとも関係するかと思うため、専門部会の方でも、どうしたらもう一度、我々市民がこの学びに対して意欲を持つことができるか、論点として受けとめていただけたらと思う。

他に何かいかがか。今のようなことでも広がる論点になるので、また皆さんお気づきの点があれば、ぜひ声を上げていただきたい。

(3) 専門部会について

資料3

資料に基づき事務局が説明をした。

資料3 長野市教育振興基本計画・長野市生涯学習推進計画策定委員会 専門部会名簿

互選により専門部会長が次のとおり承認され、各部会長による副部会長の指名が行われた。

第一部会（学校教育関係） 部会長：荒井委員 副部会長：田中委員

第二部会（生涯学習関係） 部会長：下山委員 副部会長：新見委員

(4) その他

次回の開催日 令和8年5月20日（水） 午前1時

会場 長野市役所 第一・第二委員会室（第一庁舎7階）

（部会に分かれて自己紹介等の意見交換）

4 閉会